

Study UK

英国留学ガイドブック

2023/2024



Sponsored by:



IELTS

目次

- ・ 英国で学ぶ理由 1
- ・ 最適な留学先・コースのを見つけ方 6
- ・ 出願方法（学士過程） 12
- ・ 学生ビザ 18
- ・ 卒業後の滞在延長資格
（Graduate Route） 21
- ・ 費用・予算・奨学金 22
- ・ 英国での生活 26
- ・ その他の情報 34



<https://study-uk.britishcouncil.org/>



Study UK



英国で学ぶ理由

英語発祥の地、英国への留学は、自分自身についても再発見をする機会になるでしょう。英国は留学先として世界で人気が高い国のひとつです。世界中から多様なバックグラウンドを持つ学生を温かく迎え入れる寛容な文化があり、世界で認められている高い学術レベルを誇ります。また、教育を通じて自立的に思考し、創造性を発揮し、人間的な成長を促す伝統もあります。だからこそ、英国留学経験者は卒業後も、成長を続け、スピーディにキャリアを積み重ねていくことが可能となります。

新しい学友とのネットワークを築き、豊富な体験を重ねることで、英国留学は生涯にわたって記憶に残る経験となるでしょう。

英国留学で得られるさまざまな刺激は多くの可能性をもたらします。

世界の名だたる知識人の中にも英国留学を経験した人がいますが、過去何百年にもわたり、世界で最も独創的に物事を考える人々が英国の大学で教育を受けてきました。今では、物事の本質を捉えたクリティカル・シンキング（批判的思考）やプロブレム・ソルビング（問題解決）能力を育てる英国の伝統的な教授法に加え、世界最先端の近代的な学習手法や環境のもとで学ぶことができます。

つまり、英国は創造力を刺激される環境で学びたい人にとって最適の場所と言えます。英国の大学が提供する科目は、その多様性で世界トップクラスです。独創性と意欲、異なる視点で考える力を育むために必要なサポートと機会を提供します。そして同時に、最も強固な歴史的基盤に基づく一流の教育を受けることができます。

科学、政治、芸術、文学の分野で秀でた才能を持つ著名人が、このような卓越した水準の教育の恩恵を受けてきました。ノーベル賞受賞者の38%、そして世界の指導者の4人に1人が、英国で教育を受けています。

英国には大学以外にもさまざまな学習の機会があります。英国での学びや研究は、大学の教室に限定されていません。定期的な現地調査や視察、小旅行に出かけ、教室で学んだことを現実の状況に当てはめることで、学習を促すことができます。学友と一緒に学習し問題解決を図ることで、互いのアイデアを吟味し、建設的に議論を闘わせ、学びや理論を実務に反映させる方法を正しく理解することができます。このような、知力と批判的思考が求められる環境で学ぶことで、他の学生との競争で優位に立つことができるでしょう。そして想像力が刺激を受け、個人的な経験も広がるでしょう。

世界最高水準の教育

英国の教育は世界への、そして成功を手にする明るい未来への架け橋です。

世界各地の研究者や雇用主が英国の教育制度を非常に高く評価しており、英国の大学の卒業生は世界中で引く手あまたです。実際、英国留学経験者の大半が、他の国で教育を受けた学生よりも競争上優位な立場に立っていると報告しています。英国で一流の教育を受けたおかげで、卒業後も成長を続け、スピーディにキャリアを積み重ねていくことができ、収入も増えています。これは世界のランキングで、英国の大学・カレッジが常にトップクラスの評価を受けているからです。世界ランキングで上位3校のうち2校が英国の大学・カレッジで、さらに26校が世界の教育機関ベスト200に入っています（Times Higher Education, World University Rankings 2023）。

さらに、英国の高等教育制度は、英国政府の厳格な基準で管理され、最高の授業とサポート、教育資源の提供が保証されています。

英国は留学先として世界で人気が高い国のひとつです。現在、英国で学ぶ留学生は60万人を超えています。英語発祥の地で多様なバックグラウンドの学友と関係を築き、さまざまな文化について学ぶことができます。

英国留学は最高の自分を発見するチャンスです。世界中で需要の高い知識とスキル、洞察力を身につけることができます。また、個人的な興味を育て、他国の文化や経験を学び、新しい大切な友情を築く機会にもなります。

充実した学生生活

英国で学んだ日々は心に残る体験となり、この地で育まれた友情は生涯にわたって続くものとなります。

英国に渡るのが初めてでも、あるいは自分の国から出ることすら初めてであっても心配いりません。英国の伝統、現代的な考え方、世界トップクラスの文化や芸術を探究し、楽しむことができるチャンスです。



英国には、留学中に学業以外でも発見していただきたい多くの魅力があります。国立公園の息をのむような風景から都市のまばゆいばかりのナイトライフ、また、音楽、アート、演劇、映画、文学を友人とともに堪能することができます。

英国が生み出した世界的なスーパースターには、ハムレットからハリーポッター、ビートルズ、ローリング・ストーンズ、アデル、エド・シーランなど音楽シーンをリードするミュージシャン、その他ファッション界でも英国の大学で専門教育を受けたアレキサンダー・マックイーン、ヴィヴィアン・ウエストウッド、ステラ・マッカートニーなどが世界をリードしています。

グラストンベリー・フェスティバルで泥だらけになるのが好きなタイプの人であろうと、ロイヤル・オペラハウスの上品な雰囲気を楽しむ人であろうと、どのような人でも真に心を振るわせる何かが見つかります。

成長の機会を与えてくれる素晴らしい大学

英国は、研究や学術面で世界的に高い評価を受けており、あなたの才能を発見するには最適の場所といえます。英国留学では、人生やキャリアで大きく躍進するための自信を築き、準備を整えていくことができます。

また英国は世界でも有数のイノベティブな国であり、科学、文化、金融、政治など多くの分野で常に最先端に立っています。産業革命の時代からワールド・ワイド・ウェブの発明に至るまで、世界に変革をもたらす出来事が英国で生まれています。小さな国ではありますが、大きな影響を世界におよぼしているのです。

革新性と創造性に満ちた文化から刺激を受けることで、自分自身の学習や研究でも高みを目指すことができます。英国の教職者の卓越性は世界最高レベルと評価されています。彼らの豊かな経験から学ぶことができます。

英国の教育を受けることにより、世界で求められている経験や知見を得て、人生やキャリアを変えていくことができます。大学院では高水準の教育を維持しつつも、多くの大学院で履修期間が他国より短いのも特徴です。英国で大学院レベルの学位取得を目指すことは、効果的に、かつ費用も抑えた形で、自分の望みを実現することにつながるのです。



最適な留学先・コースのを見つけ方

学士課程(学部)や大学院への留学、語学留学、その他いずれの選択肢を検討している場合でも、英国の高等教育機関が提供するさまざまなコースからあなたにとって最適なものをみつけることができます。

短い期間でも最大限の成果が得られるよう、各自に合わせたコースを組むことができます。また何千ものコースからの選択が可能で、自分の関心事や興味を持つあらゆる対象を追求していくことができます。

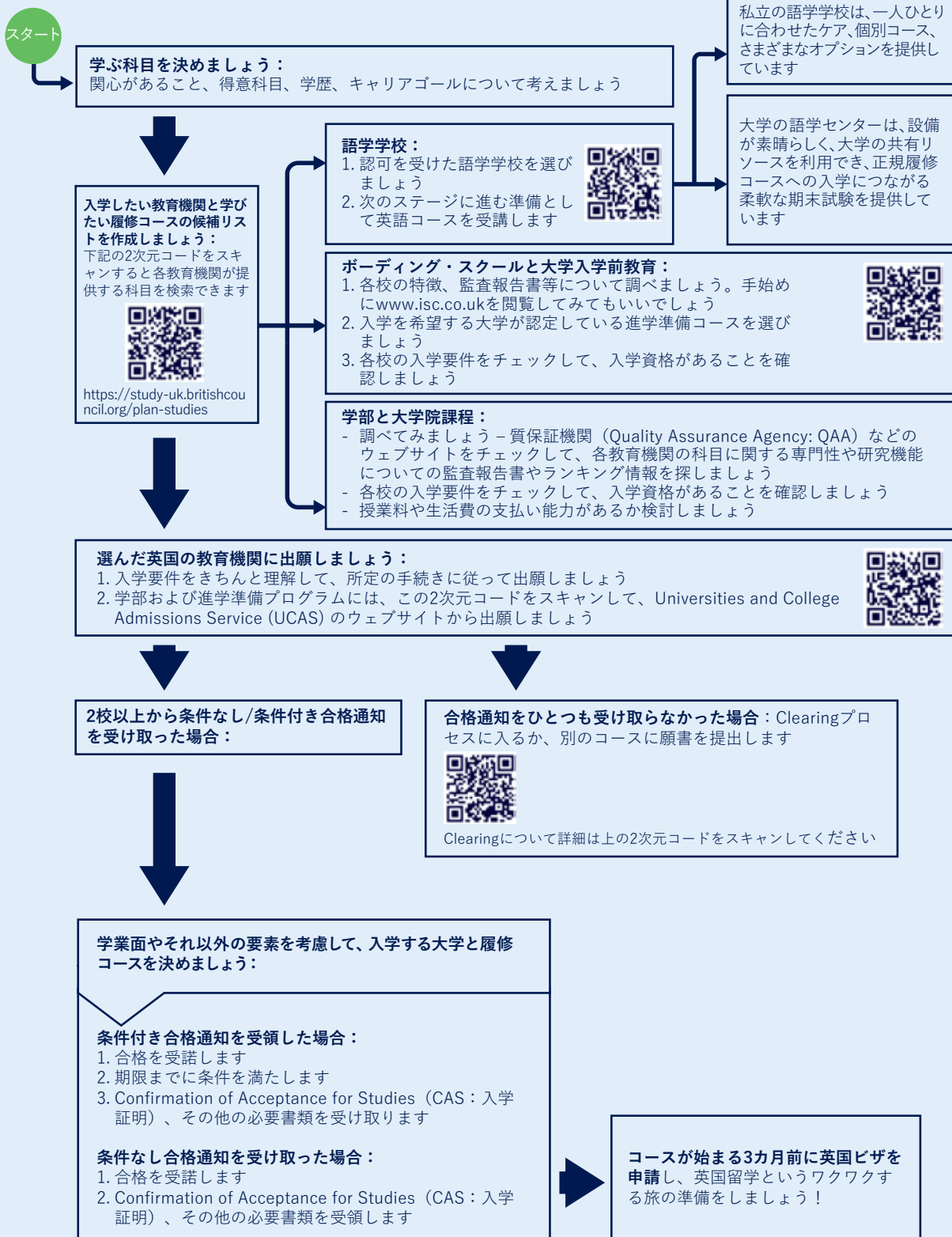
英国の多くの履修コースには柔軟性があります。多くの大学では多種多様な「モジュール」からの選択が可能で、それにより、自分に適したコースプログラムを組んで、各自に適した履修ができます。

英国の大学院プログラムはきわめて高い教育水準を誇ります。修了までの期間が米国やオーストラリアより短い1年のコースもあり、また、一流のMBAコースも1年で履修できる大学院が数多くあります。学習にかかる費用に対して高い価値を得ることができ、また、社会により早く出て教育の成果を実地で発揮することが実現できます。



英国で理想とする履修コースを見つけるには

この図を参考に、英国留学の道筋を考えましょう



学士課程

学士課程での留学をきっかけにキャリアをスタートすることを目指している場合、英国で得られるものは世界トップクラスの教育にとどまりません。留学中にはあらゆる場で幅広い学習体験が得られ、卒業時には、未来を築いていくための自信、スキル、知識を身につけていることでしょう。

英国の高等教育機関には学士レベルで以下のような課程があります。

- **学士課程**：BA (Bachelor of Arts)、BSc (Bachelor of Science)、Bed (Bachelor of Education)、BEng (Bachelor of Engineering) の各学位。フルタイムの学士課程は一般的に3年制です（コースや地域によっては4年制の場合もあります）。一部の総合大学やカレッジ（学士号を取得できるコースがあるHigher Education College）では、パートタイムの課程も提供されています。
- **短期課程**：Foundation Degree（学士号コースの最初の2年と同等レベルの学位で、修了後に学士号コース3年目への編入も可能）、Diploma of Higher Education（学士号コースの最初の2年と同等レベルの学位で、関連する分野の学士号コース3年目への編入も可能）、Higher National Diploma（2年のコースで、成績次第で学士号コース3年目への編入が可能）、Certificate of Higher Education（英国の高等教育課程で最も基礎レベルの資格で学士号コース1年目と同等レベルの学位）。

検索方法

The Universities and Colleges Admissions Service (UCAS) には、英国の約380の教育機関における5万以上の大学学部課程が登録されており、以下のウェブサイト（英語）で検索できます。

<https://digital.ucas.com/search>

UCASのウェブサイト（英語）の科目ガイドでは、大学学部レベルで履修可能な課程、その内容、出願方法についての案内があります。

www.ucas.com/explore

Study UKのウェブサイト（英語）の大学検索ページでもコースについて調べることができます。是非ご活用ください。

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/choosing-university-college>



大学院

高い教育水準、先進的な指導法、世界でも高い評価を得ている研究によって、英国の大学院は留学先として多くの学生から選ばれています。

以下は英国の大学院課程の主な種類です。

修士課程

- M.A (Master's of Arts)
- M.Sc (Master's of Science)
- M.Eng (Master's of Engineering)
- M.FA (Master's of Fine Arts)
- LL.M (Master's of Laws)
- M.Arch (Master's of Architecture)
- M.Phil (Master's of Philosophy)
- MBA (Master's of Business Administration)

各科目に特化した学位は研究主体であり、通常はPhD（博士課程）に進む学生を対象としています。



フルタイムの修士号は通常1年で修了します。一部の大学ではパートタイムのオプションも用意されています。

博士課程

ポストグラデュエート・ディプロマ(postgraduate diploma)および資格は通常、修士課程よりも履修期間が短く、卒業論文を必要としません。

大学院課程の検索方法

英国の大学院が提供するコースの詳細については、以下のウェブサイト(英語)をご覧ください。

www.prospects.ac.uk/postgraduate-courses



その他のコース

大学や大学院のほかにも、留学生には多くの選択肢があります。

Further education(義務教育後の継続教育): 中等教育終了後の教育を指しますが、大学や大学院のことではありません。継続教育を提供する英国の教育機関では、16歳以上の学生を対象に技術的・専門的な教育研修を提供しています。受けられる資格やトレーニングには、Aレベル(英国の大学入学資格)、Apprenticeship(養成訓練制度、企業に雇用されて働きながら訓練を受講)、Traineeship(若年者向け職業能力訓練制度)、職業資格、入門レベルのトレーニングなどがあります。

Foundation pathway courses(進学準備コース): 留学生が英語力だけでなく、大学学部や大学院で勉強するための知識やスキルを身につけるコースです。日本の高校卒業後、英国の大学学部に留学する場合、通常はまずはこのコースで学びます。

英語コース: 英国は、英語発祥の地、そして学問の分野で高い評価を得る国として、英語学習には最適です。

ボーディング・スクール: 18歳 (日本の高校3年次) までの生徒が学校で生活し勉強する、寮制の学校です。英国各地におよそ500校あります。

英国外で英国の学位を取得する方法

英国外で英国の高等教育の資格を取得できることをご存知ですか? トランスナショナル教育 (TNE) にはさまざまなオプションがあり、オンラインコース、アーティキュレーション・パスウェイ、ジョイント・ディグリーなどが含まれます。

各コースに関する情報、英国の資格を取得するその他のオプションについては、以下のサイトをご覧ください。

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/ways-learning>



出願方法 (学士課程)

大学の学士課程への入学を希望する場合、一般的にthe Universities and Colleges Admissions Service (UCAS) を通じて出願を行います。UCASによる出願では、UCASのウェブサイト (www.ucas.com) にアクセスし、出願システムに情報を登録します。UCASを使用して最大5つのコースに出願でき、その後の各出願先大学・カレッジからの合格通知もUCASを通じて行われます。



www.ucas.com

2024年入学願書提出の期限

2023年5月2日 2024年入学コースがUCASの検索ツールに掲載されます。



<https://www.ucas.com/undergraduate/applying-university/ucas-undergraduate-when-apply>

2023年5月16日 2024年入学の学部課程の出願を開始できますが、2023年9月5日まではUCASに願書を提出できません。

2023年10月2日 18:00 (英国時間) **コンセルバトワール (音楽学校) の願書提出期限**
ダンス、演劇、ミュージカル・コースの出願については、期限が異なる場合があります。最新の情報はコンセルバトワールのサイトをご覧ください。

2023年10月16日 2024年入学分 18:00 (英国時間) **オックスフォード大学およびケンブリッジ大学、ならびに医学、獣医学/科学、歯学コースの願書提出期限**
この後も出願校を追加できますが、全部で5校しか出願できないことを忘れないでください。

2024年1月31日 18:00 (英国時間) **大多数のコースの願書提出期限**
この期限後も願書を送付できますが、期限までに提出されなかった願書を教育機関が同等の条件で審査する保証はありません。

2024年6月30日 18:00 (英国時間) **出願する大学・コースを明記した願書の最終提出期限**
最終提出期限後に教育機関が受領した願書は自動的にClearingに入ります。6月30日まで出願可能ですが、早めに出願することをお勧めします。



<https://www.ucas.com/undergraduate/clearing-and-results-day/what-clearing>

注: 上記の日付は毎年微調整する可能性がありますので、最新情報をUCASのウェブサイトで確認してください。UCASは出願者に対し、入学許可の準備に十分な時間が取れるよう、できるだけ早く願書を提出することを勧めています。

Clearingについて

Clearingとは英国の大学やカレッジが出願期限後に定員に空きがあるコースへの受け入れを許可するシステムです。

2024年7月5日

Clearing登録の開始。UCASの検索ツールに定員の空きが表示されます。

2023年9月20日時点で、UCASウェブサイトはまだClearing登録終了日を2024年度入学用に更新していません。2023年度入学のClearing期間は2023年7月5日から10月17日までとなっています。

まだ大学やカレッジから合格通知をひとつも受け取っておらず、コースに空きがある場合には、Clearingプロセスを利用してコースに出願できます。

Clearingを利用できるのは以下を満たす場合です。

- 6月30日を過ぎてから出願する場合。
- 合格通知をひとつも受け取っていない(あるいは、合格通知をもらった大学・カレッジのどこにも入学を希望しない)場合。
- 条件付き仮合格をもらい、その条件を満たせなかった場合。
- 併願費用を支払っている。
- 第一志望校からの合格通知に対しUCASの自分のプロフィールページから「decline my place(辞退する)」を選択して入学を辞退した場合。

Clearing を利用する際に留意すべきこと

- 分からないことがあれば教員やカウンセラーにアドバイスを求める。
- UCASの検索機能を用いて、空きのあるコースや入学要件について調べる。
- 第一希望以外の他の科目も検討してみる。
- 関心のある大学やカレッジに直接連絡する。
- Clearingを使って出願したい学校・コースをUCASの出願書に追加する。

最新の期日に関してはUCASのウェブサイトでご確認ください。
www.ucas.com

Clearingについてのさらに詳しい情報は、UCASのウェブサイト(英語)をご覧ください。

<https://www.ucas.com/clearing-launch>



英国の学士課程への出願に関する情報は、以下のウェブサイト(英語)をご覧ください。

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/ways-learning/undergraduate>



大学院

英国の多くの大学院では、出願を各大学で受け付けていますので、各大学のウェブサイトから直接出願することが可能です。

大学院については出願期限を定めていないところも多く、定員に達すると出願を締め切る大学もあるので早めに出願した方がよいでしょう(コース開始の6カ月から1年前)。

英国の大学院課程への出願に関する情報は、以下のウェブサイト(英語)をご覧ください。

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/ways-learning/postgraduate>



Study UK

www.prospects.ac.uk



Prospects

英国の大学およびカレッジに出願する際の要件・必要書類

- 修了資格
- 志望動機書(personal statement)
- その他追加書類や情報

修了資格

自分が持つ修了資格が英国のどの資格と同等かを比較したい場合、UK National Recognition Information Centre（英国資格審査センター）のウェブサイト（英語）で確認することができます。

www.naric.org.uk



志望動機書

英国の大学に出願する際は、志望動機書(personal statement)の提出が必要です。志望動機書には、志望科目を選んだ理由、自分がこの科目を受講するのにふさわしいと考える理由(スキルや経験)を記載します。

次の情報を参考にしてください。

- 各大学のウェブサイトには、コースの説明として、どのような資質、スキル、経験が必要か記載されています。自分自身がその要件を満たしている、あるいはふさわしいということを説明する。
- 志望動機を記載します。どの点に最も関心があるのかを具体的に述べる。また、自分の将来の希望を達成するにはそのコースがどのように役立つのかについても記載する。
- 自分がなぜそのコースを受けるのにふさわしいのかを、学歴に加えて、もしあれば職歴や、課外活動も含めて記載する。

志望動機書の書き方などについては、以下のウェブサイト(英語)をご覧ください。

www.ucas.com/undergraduate/applying-to-university



Study UK のウェブサイト(英語)でも志望動機書に関する情報を提供しています。

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/apply>



追加書類・情報

UCASは、あなたに代わり国際バカロレアなど大半の海外の試験や資格の結果を出願先に送信することができますが、その証明となる文書は自分で大学に送付することが必要な場合があります。

追加書類や情報についての出願先の大学の方針を各大学に確認してください。資格証明書や成績証明書の提出が必要な場合もあります。



学生ビザ

英国に留学する大半の学生は、学生ビザの取得が必要です。ビザの必要性は、各自で英国政府のウェブサイト(英語)を確認してください。

www.gov.uk/check-uk-visa



学生ビザ(旧:Tier 4ビザ)

英国に留学する場合、通常は学生ビザの申請が必要となります。詳しくは
自国政府機関の情報をご確認ください。

英国外から学生ビザを申請する場合の費用は約500ポンドです。

さらに詳しい情報は以下のウェブサイト(英語)をご覧ください。

www.gov.uk/student-visa



申請に必要なステップ・書類

自国にある英国ビザ申請センターに予約をとります。そこで指紋採取および写真撮影が行われます。

student route visa(学生ルートビザ)申請に通常必要となる書類は以下のとおりですが、居住国により異なる場合があります。

- 留学先である英国の大学やカレッジが発行するConfirmation of Acceptance for Studies(CAS:入学証明)のリファレンス番号。
- 授業料や英国での生活費の支払能力を証明する書類。
- 学歴・修了資格を証明する書類原本。

申請方法

- 以下のウェブサイト(英語)にて、オンラインでstudent route visa(学生ルートビザ)を申請します。
www.gov.uk/student-visa/apply
- 生体認証情報を含む滞在許可証であるバイオメトリック・レジデンス・パーミット(Biometric Residence Permit)発行のため、ビザ申請センターで指紋採取と写真撮影を行います。これはビザ申請手続きの一環となります。
- 英国到着日として申請した日から10日以内にバイオメトリック・レジデンス・パーミットを受け取る必要があります(実際の英国到着日が遅れた場合でも当初申請した到着日から10日以内)。

英国内から申請する場合は、現在の学生ビザの期間延長あるいは異なる種類のビザへの切り替えについてご確認ください。

学生ビザ申請についての詳しい情報は以下のウェブサイト(英語)をご覧ください。

www.gov.uk/student-visa/apply



ビザの取得にかかる時間

Visas and Immigration(英国ビザ・移民局)は、15営業日以内の学生ビザの発給を目指していますが、十分余裕を持って準備し、ビザ申請することをお勧めします。ビザの申請は、予定する渡航日の最大6カ月前から行うことができます。すぐにビザが必要な場合は、追加料金を払えば優先的に審査をしてもらうことができます。



卒業後の滞在延長資格 (Graduate Route)

Graduate Routeビザ

英国は、留学生が卒業・修了後も就労や求職のために英国に滞在できるように、Graduate Routeビザを発行しています。学士課程や大学院(修士)の場合は修了後最長2年間、博士課程の場合は修了後最長3年間の滞在を申請できます。

Graduate Routeについての詳細はStudy UKのウェブサイトをご覧ください。

<https://study-uk.britishcouncil.org/after-your-studies/graduate-route>



卒業後の就労についてはUKCISA(英国留学生委員会)のウェブサイト(英語)でも情報を得ることができます。

<https://www.ukcisa.org.uk/Information--Advice/Working/Working-after-studies>



費用・予算・奨学金

授業料

授業料は、どの課程に入学するか、また、英国内のどこに留学するかによって異なります(イングランド、スコットランド、北アイルランド、ウェールズにより規則が異なるため)。

学部留学生の1年間の授業料は10,000～26,000ポンドが目安となり、大学学部への留学の場合、一般的な就学期間は3年間です。医学部の場合はこれよりも高くなります。また、英国の大学院修士課程は1年間のコースも多いため、生活費はその分抑えられ、早く修了することができます。

上記記載額はあくまで目安です。実際の授業料については、出願先の大学やカレッジに必ず確認してください。多くの場合、各校のウェブサイトに情報が掲示されています。



生活費

留学を始める前に、必要となる費用にはどのようなものがあるかを事前に知っておくと資金計画が立てやすくなります。生活費は、英国のどこに留学するのかによって異なります。たとえば、ロンドン等の大都市ではほかの地域より生活費が高くなります。参考までに住居賃借料、各種料金、交際費、その他の生活費として、ロンドンでは1カ月1,300～1,400ポンド、その他の地域では900～1,300ポンドを見積もる必要があります。

留学先の大学が、その地域の生活費の詳細や買い物の場所について詳しく教えてくれます。予算の算出には、UKCISAの留学生予算算出サイトを利用できます。
<https://www.ukcisa.org.uk/Information--Advice/Studying--living-in-the-UK/How-much-will-it-cost-to-study-in-the-UK>

NUS（全国学生組合）のカードや国際学生証があれば、多くのショップ、レストラン、サービス等で学生割引が受けられます。カードについての詳しい情報は以下のウェブサイト（英語）を参照してください。

<https://www.totum.com/campaigns/wearetotum>

<https://www.isic.org/get-your-card>



Totum



ISIC

奨学金および資金援助

英国留学費用のサポートが必要な学生のために、数多くの奨学金や資金援助プログラム等があります。また、独自の奨学金を提供している教育機関も多くあります。詳しくは各大学のウェブサイトを確認してください。

GREAT Scholarships（日本は対象外）

英国の大学院の1年間コースへの留学を希望する学生のための奨学金です。授業料を対象とした各奨学金の額は1万ポンド以上です。

この奨学金は、ブリティッシュ・カウンシル、GREAT Britain Campaign、英国高等教育機関の参加各校が資金を提供しているものです。

詳細は、以下のウェブサイト（英語）をご覧ください。
<https://study-uk.britishcouncil.org/scholarships-funding/great-scholarships>



大学院生向け奨学金

基準を満たしていれば、以下の大学院生向け奨学金も申請できます。

- チーヴニング奨学金：将来リーダーになる可能性のある学生を対象として、英国政府が提供する大学院生向け奨学金

www.chevening.org



- 英連邦奨学金・研究奨励金: 英国政府が資金を提供する英連邦諸国の出身の大学院生に提供される奨学金で、英国で学んだ後に本国の発展に貢献できる人材を支援することを目的とする。

cscuk.fcdo.gov.uk/apply/



各国の奨学金や資金援助

さまざまな奨学金がありますが、学生の出身国に条件が課されているものなどもありますのでご注意ください。

詳細は、以下のウェブサイト(英語)を検索ください。

<https://study-uk.britishcouncil.org/scholarships-funding>



英国での生活

滞在施設

ほとんどの大学やカレッジにはアコモデーション・オフィス(住居・滞在施設に関する事務を扱うオフィス)がありますので、まずそちらに問い合わせてください。通常、各機関では、留学生向けとして、寮(食事つき、あるいは、自炊)や、シェアハウス、フラットシェア(いずれも自炊)といった施設を持っています。数が限られていることが多いので、入学許可を受け取ったらできるだけ早く、締切日までには確実に申し込みましょう。

民間の滞在施設・住まい

民間の住まいについてもアコモデーション・オフィスに相談してみてください。近隣地域の民間施設・住居のリストを備えている場合もありますし、手配を手伝ってくれる場合もあります。

民間の住まいで最も一般的なのは、家の一室を借りてその家の各種設備を共有するというタイプです。家具付きの家やフラットを借りると、特に都心部においては高額になり、また物件数にも限りがあります。コストを抑えるにはほかの学生とシェアするという方法があります。そうする場合は、費用分担について事前に取り決めておくことをお勧めします。

食事

故郷から離れて一番恋しいものと言えば、食事と答える人も多いでしょう。一方で、食事が、英国での暮らしの楽しみのひとつになるかもしれません。大学生活では、食事や料理を通して、新しい食べ物やレシピに挑戦し、楽しむ良い機会になります。

食料品にかかる平均的な費用は、1週間に1人あたり約30～40ポンドです。ただ、予算に応じてあらゆる価格帯のスーパーがありますのでいろいろな選択が可能です。

輸入食材を扱う店も増えています。友人とともに好きなものを楽しく食べたり、料理をしたりということもできるでしょう。学生生活の中で食事や料理を積極的に学ぶことも大切です。さまざまな地域や文化から生まれた、手早く簡単にできる料理の作り方をルームメイトに教えてもらうこともできるでしょう。

利便性を優先したい人は、食事付きの大学寮に住むと、通常は月曜から金曜まで朝食と夕食が提供されます。



余暇の過ごし方

大学のキャンパスでは、学生自治会が主催する交流イベントや、クラブや団体の活動に参加することもできます。

また国内の美術館・博物館、劇場、その他多くの文化施設を訪れることもできます。

英国のレストランも人気が高まっており、また、その種類もますます豊富になっています。パブも、大学やカレッジの学生には、社交の場として人気が高い場所です。パブではアルコールを飲まなくてもかまいません。アルコール以外の飲み物もたくさんありますし、食事を出すパブや、カラオケができたりサッカーの試合が上映されていたり、パブ・クイズ(チーム対抗戦の週1回のイベント)を行うところも数多くあります。

ロンドンのO2アリーナやグラストンベリー・フェスティバルなど、世界最大規模のライブ会場やイベントがありますが、大学やカレッジでも世界的に有名なアーティストやバンドが公演を行います。小さなバーやカフェでもライブやダンスのイベントをよく開催しています。

ほとんどの都市には映画館があり、世界中の映画を観ることができます。ハリウッドの新作はもちろんですが、主要都市には外国映画や自主制作映画専門の映画館もあります。また、大学キャンパス内で、学生向け料金で映画を上映する催しもしばしば行われます。

スポーツファンにとっては、英国には情熱を注ぐことができるさまざまな機会があります。英国では人々はあらゆる種類のスポーツに熱狂し、また、多くの世界トップクラスのアスリートやスポーツクラブを有しています。サッカーなどのチーム競技でも、陸上のような個人競技でも、勉強のかたわら一番好きなスポーツを楽しみ、競技に参加する方法も見つけられるでしょう。

英国の天候と服装

英国の天候は予想が難しいのですが、日本と比べて夏の暑さや冬の寒さは緩やかです。重ね着をして、天候の変化に応じて服を調整できるようにし、また、必ず傘を持ち歩きましょう。

夏の平均気温は9～18℃(48～64°F)ですが、熱波襲来時には30℃(86°F)になることもあります。

冬の平均気温は2～7℃(36～45°F)ですが、0℃(36°F)を下回ることもあります。住宅、ビル、電車、バスの大半には十分な暖房設備があります。概して、英国内の地域による天候の違いはほとんどありませんが、北部や山の多い地域では、雪、雨、風の日がより多くなります。

ほとんどの町や都市には、あらゆるスタイルや予算に応じた衣類を販売する店舗が各種あります。英国の学校、カレッジ、大学では、色々なファッションの人をみかけることでしょう。通常、学生の日中の服装はカジュアルです。ジーンズとTシャツでよいでしょう。夜に出かけるときにはもう少しおしゃれをします。学生向けのバーやパブでドレスコードがあるところはほとんどありません。

履修するコースによっては健康や安全のために特別な服装をしなければならないこともあります。たとえば、科学実験では防護眼鏡や白衣が必要な場合があります。大学によって、こうしたものが支給されるところもあれば、自費で購入する必要があるところもあります。

英国は多文化の国で、それぞれが自分の文化や宗教に関連した衣類、たとえば、ヘッドスカーフ、キッパー、ターバン、サリー、ロングスカートなどを身につけている姿をよくみかけます。主要な町や都市には、世界各地の衣類、特にアジアや中東の衣類の専門店があります。

英国の四季

英国の天気を調べる方法はいろいろありますが、スマートフォンが一番身近で便利です。スマートフォンには世界の天気を調べられるアプリが搭載されています。英国の天気予報ネットワークとして定評があるのは、Met OfficeとBBCの天気予報です。



春

3月～5月

英国の春は、気象学的には3月1日に始まり5月末日に終わります。しかし天文学的には、春は春分の日(北半球では3月20日前後)に始まると考えられています。

大西洋では秋から冬にかけて水温が低下し、それに伴って大気中の湿度や熱も低下するため、英国の春はやや乾燥しています。



夏

6月～8月

英国の夏は、気象学的には6月、7月、8月の3カ月間ですが、天文学的には夏至の日(一般には6月21日前後)から始まります。夏至の日は、1年の中で太陽の位置が最も高く、昼が最も長い日です。



秋

9月～11月

英国の秋は、気象学的には9月に始まり11月に終わります。天文学的には、秋は春分の日(9月22日前後)から始まります。秋分の日、春分の日と同様に、太陽が赤道の真上を通る日であり、昼と夜はほぼ同じ約12時間となります。

英国では、秋は天気が不安定になることが多く、すぐに冷気がはっきりと感じられるようになります。秋が深まるにつれて、大西洋の低気圧の影響を受け、英国も雨や風に見舞われるようになります。



冬

12月～2月

気象学的には、12月から2月までが冬に区分されます。天文学的には冬至(北半球では12月22日前後)に冬が始まります。冬至の日は、1年で最も昼が短い日です。太陽は赤道の南から最も離れた場所にあり、北半球では地軸が太陽と逆の方向に傾いているため、太陽から得られる熱が減ります。冬至を過ぎると、昼が長くなり始めます。

英国の魅力を探る

にぎやかな都市から、雪を頂く山々、なだらかに続く緑豊かな丘、高原や島々まで、英国は探求すべき魅力にあふれています。比較的小さな国で交通網が発達していますので、留学中に国内各地を訪れることができます。たとえば、ロンドンには魅惑あふれる歴史や、象徴的な建築物、最先端のファッション、劇場があり、食事を楽しむことができます。マンチェスターやリバプールといった北部の都市には、有名サッカーチームがあり、ナイトライフも充実しています。スコットランドには、美しい自然と活気あふれる都市が混在するという素晴らしい魅力があります。ウェールズの国立公園のみごとな景観、北アイルランドの目をみはるような海岸線も見逃せません。

英国の魅力を探るための情報については以下のウェブサイト(英語)もご覧ください。

www.visitbritain.com



健康と安全

英国は世界有数の保健医療制度と世界的に評価の高い治安維持体制を備え、犯罪率が低いことから、安心かつ安全に勉学に励むことができます。

英国のNHS(National Health Service:国民保健サービス)は国の保健医療制度であり、安全かつ最新の治療が受けられます。NHS(National Health Service:国民保健サービス)を利用するには、ビザ申請時の費用の一部として、immigration health surcharge(健康保険付加料)を支払う必要があります。

また英国は、世界的な視点から見ると比較的犯罪率が低く安全な国といえるでしょう。さらに、多くの教育機関では警備スタッフを配置し学内のパトロールも行われています。一般的に、留学先の機関では、キャンパスで安全に過ごすための情報も提供していますので是非活用ください。



英国における宗教

英国ではオープンでインクルーシブな社会として、あらゆる宗教の学生が歓迎されていると感ずることができるといふでしょう。また、宗教における祈りや食事制限などの信仰を実践する場も数多くあります。多文化主義の歴史が数百年にもわたるこの国では、主な宗教についてはしっかりとした基盤を持つコミュニティがありますし、また、教育機関でも学生の宗教面のニーズに対応することに真剣に取り組んでいます。

英国の人々は英国がインクルーシブな社会を目指していることに誇りを持っています。また、人種、国籍、宗教による差別は法律で禁止されています。



その他の情報

役に立つリンク

英国への留学について、もっと詳しく知りたい方には以下に紹介するウェブサイトやリンクをお役立ていただければと思います。



英国への渡航

留学を目的とした英国への渡航に関する最新情報：
<https://study-uk.britishcouncil.org/moving-uk>



学生ビザ

情報やガイダンス：
www.gov.uk/browse/visas-immigration



ビザ申請センター(VAC)の情報：
<https://www.vfsglobal.com/en/individuals/index.html>



Study UKウェブサイト：
<https://study-uk.britishcouncil.org/moving-uk/student-visas>



一般情報

Study UKウェブサイト:

<https://study-uk.britishcouncil.org/>



大学を選ぶ:

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/choosing-university-college>



どの科目が履修できるか調べる:

<https://study-uk.britishcouncil.org/plan-studies/choosing-course/subjects>



Study UKのニュースレターに登録する:

<https://study-uk.britishcouncil.org/newsletter>



奨学金について調べる:

<https://study-uk.britishcouncil.org/scholarships-funding>



ソーシャルメディア

 <https://www.facebook.com/StudyUK.BritishCouncil>



 https://www.instagram.com/StudyUK_BritishCouncil/



 <https://twitter.com/StudyUKBritish>



 www.linkedin.com/showcase/study-uk-british-council/



 www.youtube.com/user/StudyInTheUK



 https://www.tiktok.com/@studyuk_britishcouncil



 <https://open.spotify.com/user/fuz79snssaf2ilftqbapdent>



 <https://weibo.com/educationuk>



大学およびカレッジ

UCAS(大学・カレッジ入学サービス):

www.ucas.com



英国の高等教育コース情報を集約し、比較も可能な
オフィシャルウェブサイト:

<https://discoveruni.gov.uk>



Association of Colleges(英国全土のカレッジ所在地):
<https://www.aoc.co.uk/about/general-further-education-colleges>



Prospects(大学院課程を検索できるウェブサイト):
www.prospects.ac.uk/postgraduate-study



***Your UK academic adventure
starts here with IELTS from
the British Council***

Why take IELTS with the British Council?

With more than 80 years of shaping English language assessment, **we are your gateway to achievement:**

- ✓ **Free access to our personalised IELTS resources** 'IELTS Ready Premium', when you book your test.
- ✓ Over 800 British Council IELTS **test centers worldwide**
- ✓ Effortless booking process and seamless test experience
- ✓ Option to take **IELTS on Paper or Computer**
- ✓ Additional five Test Report Forms **at no cost**

Seize the moment: Book IELTS with the British Council now and fast-track your UK dreams!



IELTS from the British Council



Study UK



Search **Study UK**



©British Council 2023